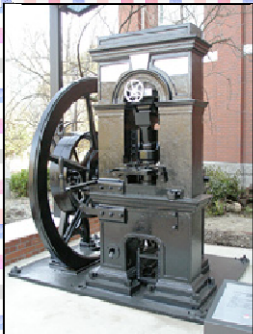




五代友厚(1836-85)



香港から輸入した「圧印機」



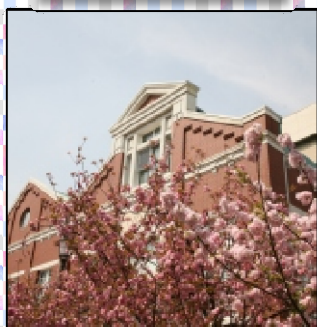
泉布観(大阪現存最古の洋風建築
旧造幣寮のゲストハウス)



大阪造幣局 正門／本局



造幣博物館(本局)



造幣博物館(本局)

五代 友厚 と 桜まつり

開催日：2024年3月27日(水)
午後2時～4時

(受付：開始 午後1時30分～

場所 正門「詰所」付近

会場：造幣局本局

〒530-0043 大阪市北区天満1-1-79

イベント内容

【造幣局内ホールでの講演等】 午後2時開始

講演会：「半田銀山の公害防止協定」(約50分)

講師：八木孝昌氏

(文学博士『新・五代友厚伝』著者)

【造幣博物館見学】

(午後4時解散予定)

【桜ノ宮公園の桜観賞】 (自由見学・自由解散)

【募集人員】 50名

【会費】 会費無料

主催：大阪市立大学同窓会

(五代友厚記念事業委員会)

後援：大阪公立大学・一般社団法人有恒会

Dream 五代塾

五代友厚【日本近代産業の父】

1836年、五代才助友厚は薩摩藩士の次男として鹿児島城下で生まれた。主君島津斉彬に「才助」と名付けられるほど、幼少より優秀であった。幕末期、薩摩藩士の英国への留学を藩に建白し、若い藩士を引き連れて欧州へ渡り、近代国家の経済活動を学んだ。

1868年、五代は外国官権判事、大阪府判事となり、大阪に赴任してきた。造幣寮（局）創設のために、香港で閉鎖になった造幣局から造幣機械一式を買い入れ、操作する外国人技師も雇い入れた。1869年には官を辞して大阪に戻り、金銀分析所を設け、全国の旧貨幣を集めて分析するなど、貨幣制度の確立に努めた。

その後、鉱山開発、製藍所や貿易会社の設立などを行い、また、大阪株式取引所、大阪商法会議所、大阪商業講習所などを大阪の経済人らと共に設立し、経済活動の近代化を図った。

近年、北海道開拓使官有物払い下げ事件の研究が進み、五代の関与に関して、新たな見解が示され、世に認められるようになってきた。

造幣局との五代イベント「五代友厚と桜まつり」

- 開催日：令和6年（2024年）3月27日（水）
午後2時～午後4時
※受付開始 午後1時30分～
受付場所 正門「詰所」付近
- 会場：造幣局 大阪市北区天満1-1-79
- 主催：大阪市立大学同窓会（五代友厚記念事業委員会）
- 後援：大阪公立大学・一般社団法人有恒会
Dream 五代塾

5. イベント内容：

(1) 造幣局内ホール（2F、ミンショップ階上）での講演等（約60分） 午後2時開始

- ・挨拶
- ・造幣局及び工場案内ビデオ（約10分）
- ・講演会 演題「半田銀山の公害防止協定」（約50分）
講師 八木孝昌氏（文学博士『新・五代友厚伝』著者）

(2) 造幣博物館見学（約30分） 午後4時開始

造幣博物館見学（自由見学で約30分）

※具体的には2班に分かれて見学実施

最終、午後3時30分に博物館前に合流・集合し、午後4時に正門にて解散する。

(3) 桜ノ宮公園のソメイヨシノ桜観賞（自由見学、自由解散）

※公園内「泉布観」～「旧桜宮公会堂」を経て、大川河畔にてソメイヨシノ桜を観賞。

受付：詰所付近

講演会会場：「ミンショップ」2Fホール

【車での来所はご遠慮下さい。】



6. 募集要項

- (1) 人員50名（一般市民もOK）
- (2) 募集締切3/13（先着50名に到着次第締切）
- (3) 参加料は無料
- (4) 申込方法
イベント名『五代友厚と桜まつり』、
参加者氏名、住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス、
[大阪市立大学卒業生 または その他]を明記の上、
Eメール または FAX にて、下記へお申し込み下さい。
- (5) 申し込み・問い合わせ先
〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138
大阪市立大学同窓会 事務局 上村
Tel 06-6605-2113 Fax 06-6605-2088
Email : z16329v@omu.ac.jp

※ご提供頂いた個人情報は、厳重な管理のもとに、本イベントに
関してのみ使用いたします。